平成２９年度

特定非営利活動法人　　自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

総会議事録

　　　　　　日時　　平成３０年　６月１６日（土）　10:00～12:00

　　　　　　場所　　海南市わんぱく公園内ガーデンレストランシャンボール

　　　　　　出席者（敬称略）

　丸嶋、住野、土橋清、土橋雅、榎、木原、長坂、山田、藤井

　　　　　　　　　　北原実、北原敏、有本

　　　　　　　　　　　総会員　　　38名（平成30年5月会費納入者）

　　　　　　　　　　　欠席委任　　10名

　　　　　　　　　　　総会出席者　12名

　　　　　　　　　　　　　　　　　総　会　日　程

1. 理事長挨拶
2. 議長選出
3. 議題
4. 平成２９年度事業報告について
5. 平成２９年度決算報告について
6. 監査報告について
7. 平成３０年度事業計画について
8. 平成３０年度予算案について
9. 役員改選について
10. その他
11. 平成２９年度事業報告及び決算報告
12. 法人独自事業

　　　・第18回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園　平成29年7月9日　 26名参加

　　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　・七草粥・小豆粥（わんぱく公園にて）　　　　平成30年1月7日　　69名参加

　　　・チームエナセーブ事業

ダンロップ田植え体験　　　　　　平成29年6月11日　　　　　 75名参加

　　　　　　住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成さ

　　　　　　れた「チーム　エナセーブ未来プロジェクト」の一環として、一般参加者、

ダンロップ、日本ユネスコ協会連盟併せて75名が参加され盛大に開催され

ました。

・未来遺産プロジェクト　県立向陽中学理科部

　　　　（テーマ）孟子不動谷の鳥類調査

　　　　（実施内容）平成29年4月～平成30年2月の間１回/月のスパンで調査を行いました。

　　　　　　　　　　平成29年4月～平成29年11月・・・不動谷内で鳥類のセンサス調査

　　　　　　　　　　平成29年12月～平成30年2月・・・向陽中学情報処理室で調査のデータ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　整理及び、第7回生物多様性フォー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ラム発表用のＰＰＴ作成

　　（２）助成事業

　Ⅰ、　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社ECO保険証券WEB約款寄付活動助成

　　　　ＭＳ＆ＡＤゆにぞんスマイルクラブ助成

　　　　トヨタ環境活動助成プログラム

　　　　子どもゆめ基金助成

* 1. 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第7回生物多様性フォーラム

（開催日時）平成30年3月4日　　　　11時

（会場）貴志川生涯学習センターかがやきホール

（参加者）201名

（開催内容）

　　((基調講演))

　　　　　　日本における生物多様性保全の今後

　　　　　　（講演者）中央大学　鷲谷いづみ教授

　　((調査研究発表))

　　　　　　もうこさとやまようちえん

　　　　　　わんぱくクラブＢコース

　　　　　　県立向陽中学校理科部（孟子不動谷鳥類調査結果発表）

　　　　　　和歌山大学システム工学部

　　　　　　はしもと里山学校

　　((里山トーク～鷲谷いづみ先生を囲んで～))

　　　　中央大学・鷲谷いづみ教授が、県立向陽中学校理科部、わんぱくクラブＢ

コース、もうこさとやまようちえんの子どもたちと同じ壇上に上がり、里

山での自然観察・自然体験についてトークを行いました。初めての試みで

したが大変盛り上がり、客席のご父兄にもコメントを求める形になりまし

た。

　　　　　　コーディネーター　湯崎真梨子和歌山大学客員教授

　　　　　　パネラー　　　　　中島敦司和歌山大学教授

　　　　　　　　　　　　　　　原　祐二和歌山大学准教授

　Ⅱ、里地・里山環境保全推進事業認証団体への県助成

　　　平成２８年度に施行された「生物多様性和歌山戦略」の中の「里地里山保全」の取り組み

　　　の一環として、平成２８年１１月に施行された「里地・里山環境保全推進事業補助金交付

　　　要綱」に則った「里地・里山環境保全推進事業認証団体」としてビオトープ孟子が選出さ

　　　れました。認証団体は、平成２８年度（平成２８年１１月～平成２９年３月）から３カ年

　　　の間継続されます。

　　（平成２９年度）

　　　　平成２９年度は、前年度「なつみず・ふゆみずたんぼ」として圃場整備を行ったエリアの

中で、秋季の台風等により水漏れが起こっていた部分の修繕を行いました。また、平成

30年3月4日、貴志川生涯学習センターかがやきホールで開催した「生物多様性フォー

ラム」の運営資金の一部を補填させていただきました。

　Ⅲ、指定管理事業

　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

　　　　（業務期間）　平成２９年　４月　１日～平成３０年　３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　NPO職員 樫尾弘子、土橋雅子、山鷲仁志

　　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

　Ⅳ、和歌山県委託事業

　　　　（１）和歌山県環境学習アドバイザ委託事業（有本理事）

平成29年4月28日　 県立向陽中学校2年生遠足受入

平成29年6月3日　　東貴志コミュニティセンターほたる祭り講師

平成29年6月9日　　海南市立北野上小学校環境学習受入

平成29年6月21日　 和歌山森づくり塾講師

平成29年6月22日　 和歌山市立有功東小学校鳥類講師

平成29年7月23日　 和歌山ユネスコ協会夏の子どもキャンプ講師

平成29年8月18日　 紀の川市立安楽川小学校水路の生き物調査

平成29年8月30日　 紀の川市貴志川町神戸土地改良区による紀の川

　　　　　　　　　　　市立中貴志小学校水路の生き物調査

平成29年8月5～6日 (特)生石山大草原保全会キャンプ講師

平成29年9月 5日　 海南市立北野上小学校田んぼの生き物調査

平成29年9月15日　　和歌山市山東にて自然観察講師

平成29年11月7日　　海南市立北野上小学校環境学習受入

平成30年1月30日　　和歌山県緑化功労賞審査

平成30年2月22日　　和歌山県環境審議会自然環境部会

平成30年3月7日　　 海南市下津町日本農業遺産調査

　（２）和歌山県里地里山保全事業（有本理事）

①はしもと里山学校（橋本市柱本地区）

　　平成29年度に和歌山県里地里山環境保全登録団体にして選出された橋本市柱本地区で活動

　　している「はしもと里山学校」の環境調査を県自然環境室より依頼されました。有本が現地

　　で動植物調査するだけでなく、「はしもと里山学校」で毎週土日に既に活動している中学生・

　　小学生のグループ「いきものがかり」の皆さんと一緒にチョウの調査を行いました。その調査

　　結果は、平成30年3月4日に開催した「生物多様性フォーラム」の調査研究発表で、壇上に

上がって発表を行いました。有本理事が橋本市柱本地区に赴いた日を下記に列記します。

　　平成29年4月16日　　　　平成29年8月6日

　　平成29年5月14日　　　　平成29年9月18日

　　平成29年6月17日　　　　平成29年11月12日

　　平成29年7月16日

* 1. 須佐しいやまクラブ（和歌山市口須佐～奥須佐地区）

　　平成29年度に和歌山県里地里山環境保全登録団体に選出された和歌山市口須佐～奥須佐地区

　　で活動している「須佐しいやまクラブ」について、和歌山県自然環境室の依頼により水辺ビオ

　　トープ構築のアドバイス及び平成30年度における地区全体の自然環境調査を行うことになり

　　ました。

　　　（平成29年度実績）

平成30年2月27日　　和歌山市須佐しいやま倶楽部環境調査

　　　（平成30年度予定）

　　　　　　　　四季１回の目途（年４回）で、和歌山市口須佐～奥須佐地区の自然環境調査を

　　　　　　　　行います。

Ⅴ、高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業

　　同会・住野理事を中心に活動しています。「木の国協議会森林・山村多面的機能発揮対策交付

　　金」を活用しながら、地権者に伐採許可を得た不動谷内森林の間伐作業及び、林相のモニタリ

ング地点を設け、定期的な調査活動を行いました。上記活動の際に伐採したクヌギ、コナラ

アラカシ等の材は、御廟用黒炭の炭材として活用しています。

２、決算報告

　　別添資料を参照してください。

1. 監査報告

平成29年度の監査報告をさせていただきます。

特定非営利活動法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子事務局において平成２９年度の出納関係の資料を下記日程にて確認したところ、内容について決算報告させていただいた内容と相違ありませんでした。

　　　　　　　　　　　　会計監査日　　平成３０年　５月　１日

　　　　　　　　　　　　監査担当　　　監事　北原実恵子

４、平成３０年度事業計画

1. 未来遺産プロジェクト　和歌山県立向陽中学理科部

　　　　今年度は、孟子不動谷のトンボ類の生息調査を行います。基本１回/月のスパンで行い記

録蓄積を行います。年度末及び年度当初には、生物多様性フォーラムでの発表を行います。

1. 法人独自イベント

　　ダンロップ田植え体験　　　　　　平成30年6月9日

　　　　　今年度は、住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成さ

　　　　　れた「チームエナセーブ未来プロジェクト」の一環として、ダンロップ、日本ユネス

コ協会、もうこさとやまようちえん、一般参加、併せて114名が参加され盛大に開催

されました。

　　　　第19回こがねぐも相撲大会　 平成30年7月8日 （於）海南市わんぱく公園

1. わんぱく公園イベント

　　　　定例イベント　毎週日曜13時　押し花等　　　外部講師・公園職員

　　　　恒例イベント　毎週土日　　　ウルトラクイズ

　　　　　　　　　　　毎週土日　　　じゃんけんぽん　ビンゴゲーム大会

　　　　わんぱくクラブ運営（予）トヨタ環境活動助成プログラム・経団連自然保護基金

　　　　　　　　　　　　　　　　子どもゆめ基金

　　　　　（わんぱくクラブAチーム）構成員21名

　　　　　　　わんぱく公園内で、昆虫、両生爬虫類等を採取し、じっくり観察した上でスケッチ

を行います。

　　　　　（わんぱくクラブＢチーム）構成員24名

　　　　　　　平成２６年度から新設したチームです。未来遺産登録地・孟子不動谷で自然観察

　　　　　　　を行い、１年間の活動の感想を「生物多様性フォーラム」で発表することを目的

　　　　　　　として活動を行います。平成３０年度は、各自テーマを決めて標本を作製すること

　　　　　　　を目標に活動します。また、６月、９月、１１月に、県立自然博物館の学芸員を招

　　　　　　　聘し、各自の観察活動の見識を深めてもらおうと考えています。

　　　　　（もうこさとやまようちえん）構成員17名

　　　　　　　平成２７年度から新設したチームです。幼稚園児を対象に募集を行い、未来遺産

　　　　　　　登録地・孟子不動谷で自然観察を行うチームです。身近な自然環境である里山に

　　　　　　　触れ合い、そこに住む動植物と戯れる経験は、出来る限り幼い時期から始める方

　　　　　　　が効果が高いため新設しました。

　　　　わんぱく友の会運営　構成員72名

　　　　　　　今年度は、「タケノコ掘り体験」「桃ジャム作り体験」「キュウリのQちゃん漬け」

　　　　　　　「正月飾り作り」の４つの体験を行います。

1. 大学、高校との協働事業

　　　　　和歌山大学システム工学部（原祐二准教授）受託事業

　　　　　　平成30年度より、和歌山大学システム工学部・原祐二准教授が受託した事業が開始

　　　　　　されます。里山資料館「山案山子」テラスに設置された計器を使い、不動谷内の気象

　　　　　　データを蓄積したり、犬飼池北西岸のカメ類の「甲羅干し」地点や、やすゆき公園の

　　　　　　クヌギの樹液溜まりなど、生き物がよく集まる箇所に小型定点カメラを設置し、生物

　　　　　　の行動を映像として記録していく「生物監視・データ蓄積システム」を構築しデータ

　　　　　　の蓄積を行います。計器の保守点検や、データの取得のため、随時、原准教授及び学

　　　　　　生の皆さんが孟子不動谷に来場します。

1. 和歌山県委託事業
	1. 和歌山県里地里山環境保全事業

・和歌山県里地里山環境保全認証地域として、孟子不動谷の里山管理事業

　　　　 ・和歌山県里地里山環境保全登録団体へのサポート事業

　　　　　　　（橋本市柱本地区はしもと里山学校・和歌山市須佐地区須佐しいやま倶楽部）

* 1. 和歌山県環境学習アドバイザ事業
	2. 和歌山県環境審議会自然環境部会（自然環境部会委員・有本）
	3. 下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会（有識者・有本）
1. 高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業

平成29年当初より、未来遺産登録地・高野山奥ノ院の御廟用黒炭焼きの事業が開

始されています。炭焼担当の住野理事をはじめ10名の地元住民の方々がチームを

編成し対応中で、平成29年度からは木の国協議会主催の林野庁助成制度に、御廟

用黒炭材（クヌギ、アラカシ）の確保を視野に入れた3カ年の森林整備の事業を申請中

です。平成30年度も、平成29年度に引き続き活動を継続します。

1. 助成金事業

（交付決定分）

　・木の国協議会森林・山村多面的機能発揮対策交付金

　　　　　地域住民のみなさんがグループを作り、森林資源の活用や里山環境の改善を目的に

　　　　　活動することにより、よりよい地域づくりを支援する林野庁の助成制度です。

　　　　　平成２９年度の事業として、高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業を行うチームによる

　　　　　御廟用黒炭材（クヌギ・アラカシ）の確保を視野に入れた3カ年の森林整備の事業

　　　　　を申請し採択されました。平成30年度も、平成29年度に引き続き、事業継続をい

　　　　　たします。

　　　（申請中助成事業）

　　　　　花王みんなの森作り活動助成

　　　　　子どもゆめ基金

　　　　　赤い羽根基金

　　　　　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社ECO保険証券WEB約款寄付活動助成

　　　　　トヨタ環境活動助成プログラム

　　　　　経団連自然保護基金

　　　　　和歌山県和みのむら活性化支援事業

1. 理事会　　　理事長が適宜理事会を招集します。
2. 実行委員会（役員・スタッフ・会員）

　　　　　理事長が適宜召集して開催します。

　　　　　原則として理事会の意味も包含します。

　　　　　（ただし、理事のみで議決を必要とする事項が発生したときには、理事長が別途理事

　　　　　　会を招集します。）

1. 総会　　　　平成３１年度当初に開催します。

　５、平成３０年度予算案について

　　　別添資料を参照してください。

６、役員改選について

　　平成30年度以降のNPO法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子の役員を、下記のよう

　　に改選したいと思います。

　　（注）総会当日（平成30年7月16日）、丸嶋康行理事より、理事退任届が提出され、退任

　　　　　の旨、総会で承認されました。

（改選前）

　　　　　理事長　　　北　原　敏　秀

　　　　　理事　　　　丸　嶋　康　行

　　　　　　　　　　　住　野　琇　明

　江　川　公　博

　　　　　　　　　　　有　本　　　智

　　　　　監事　　　　北　原　実恵子

（改選後）

　　　　　理事長　　　北　原　敏　秀（留任）

　　　　　理事　　　　丸　嶋　康　行（退任）

　　　　　　　　　　　住　野　琇　明（留任）

　　　　　　　　　　　江　川　公　博（留任）

　　　　　　　　　　　榎　　　晃　秀（新任）

　　　　　　　　　　　北　原　実恵子（新任）

　　　　　　　　　　　有　本　　　智（留任）

　　　　　監事　　　　土　橋　雅　子（新任）

７、その他